



よくある質問：オペレーションセンターと Prime Infrastructure

- [よくある質問：オペレーションセンターと Cisco Prime Infrastructure](#) (1 ページ)

よくある質問：オペレーションセンターと Cisco Prime Infrastructure

- [アラームおよびイベント](#)
 - [クロス起動](#)
 - [デバイス](#)
 - [レポート](#)
 - [その他](#)
-

アラームおよびイベント

- Q.** オペレーションセンターに表示される [アラームのまとめ (Alarm Summary)] の集計値が Cisco Prime Infrastructure の管理対象インスタンスに表示される数と一致しないのはなぜですか。
- A.** ユーザは、オペレーションセンターとオペレーションセンターが管理しているすべての Cisco Prime Infrastructure インスタンスが同じアラームカテゴリを使用していることを確認する必要があります。

オペレーションセンターとすべてのインスタンスが同じカテゴリを使用していることを確認するには、次の手順を実行します。

1. 管理者権限を持つ ID を使用してオペレーションセンターにログインし、[管理 (Administration)] > [ユーザ設定 (User Preferences)] を選択します。
2. [アラーム (Alarms)] の下で、[アラームカテゴリの編集 (Edit Alarm Categories)] をクリックします。

3. オペレーションセンターで現在選択されているアラームカテゴリをメモします。通常の場合では、次のカテゴリが選択されます。
 - アラームのまとめ
 - AP
 - コントローラ
 - カバレッジ ホール
 - メッシュ リンク
 - モビリティ サービス
 - パフォーマンス
 - 不正 AP
 - セキュリティ
 - ルータ
 - アプリケーション パフォーマンス
 - スイッチおよびハブ
 - システム
 4. いずれかの選択肢を変更する必要がある場合は、選択または選択解除するアラームカテゴリの横にあるチェックボックスをクリックして、[完了 (Done)]をクリックします。
 5. Cisco Prime Infrastructure の各管理対象インスタンスで上記の手順を繰り返し、各インスタンスで同じ選択を行います。
- Q.** オペレーションセンターに表示される合計アラーム数が管理対象インスタンスに表示される数と一致しないのはなぜですか。
- A.** デフォルトでは、オペレーションセンターは、合計アラーム数を計算するときにすべてのアラームをカウントしますが、Cisco Prime Infrastructure の管理対象インスタンスは、承認済みアラームとクリア済みアラームを非表示にしています。すべての管理対象インスタンスの合計アラーム数をオペレーションセンターのアラーム数と一致させる場合は、承認済みアラームとクリア済みアラームを表示するようにすべての管理対象インスタンスを設定する必要があります。
1. Cisco Prime Infrastructure の最初の管理対象インスタンスにログインします。
 2. [管理 (Administration)][システム設定 (System Settings)][アラームおよびイベント (Alarms and Events)]を選択します。
 3. [表示オプションのアラーム (Alarm Display Options)]で、[確認済みのアラームを非表示 (Hide acknowledged alarms)]と [クリア済みのアラームを非表示 (Hide cleared

alarms)]の横にあるチェックボックスが両方とも**オフ**になっていることを確認します。

4. [保存 (Save)]をクリックして変更を保存します。
5. 他のすべての管理対象インスタンスでこれらの手順を繰り返します。

- Q. オペレーションセンターに表示されるイベントおよび Syslog の集計数が管理対象インスタンスに表示される数と一致しないのはなぜですか。
- A. 性質上、イベントおよびsyslogは管理対象インスタンス上で常に変化しています。この変化は、5秒ごとに更新ボタンをクリックすることで確認できます。イベントおよび Syslog の数が変化してから、対応するNBIコールでその数が更新されるまでの時間には、常にわずかなラグがあります。これは絶えず変化しているため、オペレーションセンターに表示される集計数を個々の管理対象インスタンスと比較するべきではありません。

クロス起動

- Q. [ネットワークデバイスの概要 (NDS) (Network Device Summary (NDS))]ダッシュレットからワイヤレスコントローラ (WLC) の [デバイス (Devices)]ページにクロス起動するときに不一致があるのはなぜですか。
- A. これは、Cisco Prime Infrastructure がダッシュレットのデータと個々のワイヤレス デバイスのデータを取得する方法の違いによる問題です。[ネットワークデバイスの概要 (Network Device Summary)]のカウントを取得するために、ダッシュレットは、デバイスが到達可能なときにエントリを持つデータ構造を照会しますが、インベントリ収集ステータスはチェックしません。開いている WLC の [デバイス (Devices)]ページをクロス起動すると、そのデバイスのインベントリ収集ステータスが正常である (少なくとも一度) 場合のみ、エントリがあるテーブルからカウントが取得されます。これはオペレーションセンターではなく Cisco Prime Infrastructure の問題であることに注意してください。
- Q. [ネットワークデバイス (Network Devices)]ページの特定のデバイスグループからのクロス起動に関する既知の問題はありますか。
- A. オペレーションセンターの [ネットワークデバイス (Network Devices)]ページ下の特定のデバイスグループから、管理対象インスタンス内の同じデバイスグループへのクロス起動に関する既知の問題があります。ユーザは管理対象インスタンスの [ネットワークデバイス (Network Devices)]ページにリダイレクトされますが、オペレーションセンターで選択されたデバイスグループではなくすべてのデバイスグループが表示されます。
- Q. [ネットワークデバイスの概要 (Network Device Summary)]ダッシュレットのサードパーティ製 AP でクロス起動が正常に機能しないのはなぜですか。
- A. オペレーションセンターのサードパーティ製 AP の [ネットワークデバイスの概要 (Network Device Summary)]ダッシュレットからのクロス起動には既知の問題があります。オペレーションセンターからクロス起動すると、[ネットワークデバイス (Network Devices)]ページにはサードパーティ製 AP は表示されません。
- Q. syslog のクロス起動が予期どおりに機能しません。
- A. 現在 Cisco Prime Infrastructure では、syslog のインスタンス ID によるフィルタリングはサポートされていません。その結果、オペレーションセンターは、Cisco Prime Infrastructure

の管理対象インスタンスへのクロス起動時に、syslog のフィルタリングをサポートできません。

デバイス

- Q.** オペレーションセンターの [クライアントおよびユーザ (Clients and Users)] ページと、Cisco Prime Infrastructure 管理対象インスタンスの同じページで、VLAN ID とアソシエーション ID に違いがあるのはなぜですか。
- A.** これは、これらの値がすばやく更新されるために発生します。オペレーションセンターでこれらの値を更新すると、Cisco Prime Infrastructure 管理対象インスタンスで同じデータが既に変更されている可能性があります。
- Q.** オペレーションセンターと管理対象インスタンス間で、[デバイスの詳細 (Device Details)] ページの自律 AP の [CPU 使用率 (CPU Utilization)] フィールドと [メモリ使用率 (Memory Utilization)] フィールドに表示される内容が異なるのはなぜですか。
- A.** 不一致の理由の 1 つは、これらの値が非常に迅速に変化することです。オペレーションセンターでこれらの値を更新すると、1 つ以上の Cisco Prime Infrastructure 管理対象インスタンスで同じデータが既に変更されている可能性があります。

レポート

- Q.** オペレーションセンターと Cisco Prime Infrastructure で生成されるレポート値にわずかな差異があるのはなぜですか。
- A.** これは予期された動作です。Cisco Prime Infrastructure は小数値を自由に使用してレポート値を生成しますが、オペレーションセンターは丸められた数値のセットを使用してこれらの値を集約します。このため不一致が生じます。
- Q.** レポートデータが 2.1 の Cisco Prime Infrastructure インスタンスからポーリングされないのはなぜですか。
- A.** 2.1 の Cisco Prime Infrastructure インスタンス上の既存のレポートと同じ名前でもオペレーションセンターでレポートを生成しようとする、そのインスタンスのデータはオペレーションセンターで無視されます。この問題を回避するには、オペレーションセンターとすべての管理対象 Cisco Prime Infrastructure インスタンス間で一意となるレポート名を指定します。

その他

- Q.** 2.1 の管理対象インスタンスからサイト情報が取得されないのはなぜですか。
- A.** [パフォーマンス (Performance)] > [デバイス (Device)] > [デバイスを選択] > [サイト (Site)] の順に選択すると、2.1 インスタンスのサイト情報は取得されません。これは、

Cisco Prime Infrastructure バージョン 2.1 と 2.2 の間で変更された内部 (IFM) API が原因です。

- Q. オペレーションセンターと Cisco Prime Infrastructure で、[現在関連付けられている有線クライアント (Current Associated Wired Clients)] テーブルの列が異なるのはなぜですか。
- A. オペレーションセンターの [現在関連付けられている有線クライアント (Current Associated Wired Clients)] テーブルには固定列があります。Cisco Prime Infrastructure の管理対象インスタンスの同じテーブルには、カスタマイズ可能な列があります。オペレーションセンターの今後のバージョンでは、これが変更される可能性があります。

